



人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary
第2750地区



Governor's
MONTHLY
LETTER

月ガバナー信

6

Governor's Message

「奉仕の哲学を実践しよう」～「地区チーム」はクラブを支援する

国際ロータリー第2750地区 2016-17年度ガバナー 大槻 哲也



1. はじめに

ロータリアンの皆さん、こんにちは。〈月信5月号〉のお目通し頂けましたでしょうか。皆さんと親しくお付き合いをさせて頂いてきた〈ガバナー月信〉も、いよいよ幕引きの時がきました。今年度はガバナー月信・年次報告委員会のアドバイスもあって

従来と趣向を変え、「月間」にとらわれず、その時々を思いを率直に書いてみることにしたのですが、いかがだったでしょうか。

2. 2016年RI規定審議会決定への対応

(1)地区チームはクラブを支援する

今年度の地区活動は、ガバナー補佐をはじめ地区役員等スタッフが手を携えて地区チームの結束力を高め、クラブ会長、幹事と連携して「地区チームはクラブを支援する」をキーワードにスタートしました。そのような中、早々に2016年RI規定審議会決定に伴う変更事項への対応が必要となり、変更の内容等について研修リーダー及び同補佐による指導のもと、規定審議会代表議員によるRI理事会での審議状況の報告等も受けながら、対応への準備を整えたのです。

(2)規定審議会決定での変更内容とその理由

2016年RI規定審議会決定での変更事項は、

- ①例会の頻度や形式、方法、出席要件に関する柔軟性
 - ②Eクラブとロータリークラブの区別をなくす
 - ③会員種類に関する柔軟性
 - ④ローターアクターの二重会員身分
 - ⑤入会金はクラブの裁量に委ねる
- 等でした。

なぜ変更が必要であったのか。それは一部の国や地域において会員数の減少や会員の平均年齢の高齢化が進んでいるという状況にあります。このような

状況に対応して行われた試験的プログラムにおいて、クラブが決定できる柔軟性が多いほどクラブは活性化されるという傾向が示されたのです。

(3)地区の対応方針

当初規定審議会決定は入会金の徴収を一切認めないように読めたこともあり、パストガバナーの方からは「ルールに従うべきであり、運営費用の財源に困るクラブは例会数を減らすか、更には20名以下の小クラブは合併することによってこの問題に対処してはいかか」とご意見を頂きました。こういったご意見も踏まえながら、我が地区では、ガバナー補佐研修会等で議論を重ねて、入会金を徴収するかどうかはクラブの裁量に委ねられていることを明示するとともに、「実際のクラブ細則等の変更は次年度以降に回し、今年度はじっくり検討する時期であっても良い」とする考え方を示しました。地区内では、すでに入会金の廃止を決めたクラブがあれば、入会金をそのまま続けるクラブもあり、入会金の名目を変えるクラブもある等複雑な事態が発生していましたが、地区の方向性はクラブの主体性を尊重するというRIの基本的考えと同じであることを伝達したのです。こうした中でガバナー補佐とグループ幹事にはガバナーに寄り添い、グループ協議会やクラブ協議会に足を運び、卓話や懇談会を通して各クラブの会長、幹事そして会員の方々にご理解いただけるよう最善を尽くして頂きました。

(4)地区規定審議委員会の活動

また、地区に「地区規定審議委員会」を立ち上げて、クラブ細則等の見直しの検討を行っているクラブ会長、幹事のための「相談窓口」の役割を担っていただいたほか、クラブの現状を把握するため国内91クラブを対象に「2016-17年度規定審議委員会アンケート調査」を実施しました。

アンケート調査では「クラブ細則改定取組」、「例会の開催」、「出席率」、「人頭分担金の値上げ」、「入会金」、

「奉仕の方向性」の6項目について全クラブから回答を頂き、アンケートの集計結果をクラブ運営のリソースとして各クラブへ提供しました。

項目の回答や意見欄の意見及び公式訪問時の質問、意見等クラブの反応は様々でした。「これを機会にクラブ運営を根本的に見直して活性化を目指せば良い」と感じて思わず口出しをしそうになったクラブもありました。ここでいう「根本的」とは単にクラブの定款や細則の文字面を見直すのではなく、クラブの組織（機能の重視）、人事（機会均等）、財務（負担の公平化）に関して先例踏襲の分別（継続か廃止）も含めて実態を把握し、将来に向かって必要な変更をすることです。

3. ロータリークラブの運営に必要なこと

ところで、創立17年になる東京レインボーロータリークラブ（会員数18名）は、先般2017年6月30日付けのRI脱会をRI理事会に通知しました。その理由は「2017-18年度会長・幹事の確定ができないことが確

実となり、クラブとしての機能を果たすことができなくなると認識されるに至ったことによる。」ということでした。この決定は一人ひとりの会員と個別面談を行った上での結論であり、会員のうち11名は親クラブの東京新橋ロータリークラブへ入会し、7名はロータリーライフから引退を決められたというお話しでした。

先ほどお話ししたアンケートでは、クラブ会員が少ないから組織や財政基盤が弱く、奉仕活動にも限界があると嘆いておられるクラブもありましたが、本当にそうでしょうか。私はそうではないと考えています。何よりも大切なことは自らがロータリアンとして知力、気力、体力に自信を持ち続けること、自クラブの会員であることに誇りを持って生涯現役でありたいと思いつけることです。クラブの大小ではなくクラブの運営に携わるリーダーの勢いこそが時代の変化に生き残るための課題ではないでしょうか。もっともっと前向きに取り組んで欲しいと願っております。

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を



青山学院緑岡中等学校正門と校舎

設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

2017年4月24日(月)、「2017-18年度地区研修・協議会」が京王プラザホテルで開催されました。

猿渡ガバナー年度を担う会長エレクトをはじめとするクラブのリーダー、地区のリーダー等635名が参加して、次年度活動の準備をする有意義な集まりとなりましたので、概要をご報告させていただきます。

JR山手線の遅延の影響もありましたが、定刻どおり9時30分に猿渡ガバナーエレクトの点鐘で開会し、大槻ガバナーから開会に当たってのご挨拶をいただきました。

猿渡ガバナーエレクトから、国際協議会の内容について、RI会長のお人柄や他のガバナーエレクトとの交友等具体的なお報告に続き、次年度地区方針・重点目標についての説明がありました。また次年度地区組織についても説明がありました。

久邇地区研修リーダーからは、クラブ役員の役割と責務についてのお話をいただきました。

日韓親善会議日本側委員会の市川委員長からは、「平和の樹立は隣国との親善から」という会議の意義や重要性についての説明の後、今年9月23日(祝)という参加しやすい日程なので500名程度の参加者を希望するというお話がありました。

国際大会推進委員会の棚網委員長から2018年6月24日から27日までトロントで行われる国際大会への参加の呼びかけ、地区大会実行委員会の寺島委員長からは2018年2月26日、27日に行われる地区大会への参加の呼びかけがあり、金丸地区幹事からはRI会長賞の説明、特に増強については40歳未満の女性会員の純増だけでよいとは必ずしも言えないとの解説がありました。

浅川委員長からポール・ハリス・ソサエティの財団の公式プログラムであること、熊本委員長からRLIの開催予定、関第二ゾーンカードコーディネーターからロータリーカードについては現状の説明がありました。また天野公共イメージ・コーディネーターか

ら広報活動に関する有意義なお話をいただきました。

その後、星野地区研修リーダー補佐から分科会の内容についての説明があり、午前中の全体会議を終了しました。



12時50分から15時10分まで行われた各分科会については、分科会終了後、次のとおり報告が行われました。

会長・幹事部会は、福井地区研修リーダー補佐から、予算の承認、意見交換会の結果。

会員・広報部会は、田中会員委員会委員長から増強についての卓話の重要性、新会員セミナー、PETSアンケート結果。清野公共イメージ委員会委員長からメディアへの情報提供。

奉仕プログラム部会は、齋木奉仕プログラム委員会委員長から年度継続中の共同プロジェクトの説明、地区内のクラブが合同して行う企画としてはPBGのサポート。

青少年奉仕部会は、神山地区幹事から、5つの小委員会の課題と危機管理。

ロータリー財団部会は、玉村ロータリー財団委員会副委員長からポリオプラス、平和フェローシップ。

米山記念奨学部会は、遠藤米山記念奨学委員会副委員長から豆辞典や米山学友の群像の利用。

以上の分科会報告の後、久邇研修リーダーから、三大研修を終えているいろいろな問題点が出てきたが、ヨコ社会のいいところはこれらの問題について活発な意見が出ることであるとの講評があり、猿渡ガバナーエレクトの閉会挨拶、点鐘により、無事全プログラムを終了しました。

(役員の手紙については「次年度」を省略しています。)



2016 - 17 年度を振り返って



大槻年度千代田グループ第一回協議会を昨年1月に始めて、この5月で9回(うち懇親会は5回)を数えました。

ご承知の通り、この一年で日本のロータリアンが金科玉条としていた規定の変更がありました。

私を含めてほとんどの日本のロータリアンが意識しないまま(?)その時期を迎えました。情報は適時適切にリリースされていたにもかかわらず、世界のロータリーを取り巻く環境変化に気がつかず、いささか慌てふためいた感があったのは否定できませんでした。

そもそもロータリークラブというものを考えると、その目的遂行上及び組織維持上こうなることも予想のうちであるべきでした。

千代田グループ協議会では、これを契機に規定審議会決定事項以外でもいろいろなテーマで活発な議論が交わされたことから、この1年がとても短く感じられました。

この議論の結果として、千代田グループとして以下の2テーマを大槻ガバナー宛て提案いたしました。東京芝RC 村上会長が提案した「貧困の連鎖対策研究チーム設置の件」及び東京みなとRCの吉田会長が提案した「米山記念奨学会の見直し」についてです。まだまだ、議論不足

千代田グループ ガバナー補佐 西澤 民夫(東京赤坂RC)

の上、認識不足の点多々あり、第2750地区での帰趨は判然としませんが、千代田グループとしての議論の成果の一つで将来への一石になるものと思っています。特に、貧困問題調査・研究会を近々、千代田グループで立ち上げることになりました。

今年度末に東京レインボー RCが解散せざるを得ないことは残念です。ただ、大半の方はスポンサークラブである東京新橋RCに参加されることは喜ばしいことです。

最後になりますが、千代田グループとして、数年ぶりにIMを開催しました。3年未満の新人の交流をテーマとして大槻ガバナーを始め第2750地区の役員のご参加を得て、またRLIのご支援を得て、こじんまりとしているものの中身の濃いものとなりました。30周年記念式典を済ませたばかりの東京赤坂RCが中心となって取り仕切っていただきましたことは感謝に堪えません。



2016 - 17 年度を振り返って



ガバナー補佐を務めさせて頂きました1年間、準備も含めると約2年になりますが、あっという間に過ぎた気が致します。今年度、銀座・日本橋グループから輩出されました大槻ガバナーの下でガバナー補佐の役割を担うことができましたこと大変光栄でございました。

ガバナー補佐という大役に不安を抱えての船出でございましたが、多くの皆様に支えられ、何とか無事に任期を終えることができました。

銀座・日本橋グループは、歴史のあるクラブ、一昨年創立したクラブを含め11クラブで成り立っています。年度が始まるにあたりまして、まず、11クラブの会長・幹事の皆様と親睦を深め、しっかりとコミュニケーションをとりながら協力体制を作り、グループが一つのチームになるところからスタートしたいと考えました。そのためにグループ協議会を7回開催致しました。協議会では今年度の地区運営方針「奉仕の哲学を実践しよう」を共有し、月一回開催されました地区役員会でのガバナーのお言葉や地区からの情報をお伝えいたしました。又、各クラブの皆様からも率直な地区へのご意見を伺うことを心がけて参りました。

11クラブの皆様は、それぞれ継続的に素晴らしい奉仕

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 石川 和子(東京中央新RC)

活動をされていらっしゃると思いますが、今年度の地区運営方針に向けて更に積極的な活動にチャレンジしていただきました事は大変にうれしい事とございました。

ガバナー補佐訪問では11クラブの例会、クラブ協議会にお伺いいたしました。クラブの皆様が温かく迎えて下さいました。年度初めで緊張しておりました私にとりましてとてもありがたい事とございました。

一方で、非常に残念な事もございました。グループ内の東京日本橋西RCの会長 池田靖様が急逝されました。急遽、直前会長の竹内良知様が会長職にお就きになり、池田様の方針を引き継がれクラブ運営にあたって下さいました。改めて東京日本橋西RC会員の皆様の絆の強さと、グループのチーム力を感じる事ができました。

この一年、ガバナー補佐の役割を通して、ロータリアンの方々とお話する機会も多く、皆様のロータリーに対する熱い思いを伺い、多くの事を学ばせていただきました。

ここで得られた貴重な経験をこれからのロータリー活動に活かして参りたいと思います。

改めて、銀座・日本橋グループの会長・幹事の皆様、そして多大なるサポートをして下さいました時枝グループ幹事に心より感謝し、御礼申し上げます。

ありがとうございました。

2016 - 17 年度を振り返って

京浜グループ ガバナー補佐 富澤 為一 (東京品川RC)



大槻ガバナーより2016-17年度のガバナー補佐を拝命、予定者研修から現在まであつという間の期間でした。一言で感想を申し上げるなら、大変楽しい年度でした。私はローターアクトを経て東京品川IRCに入会し、今年で24年目になりました。クラブの幹事、会長年度以外は何度も地区にも出向。お陰様で地区内外に多くの友人を得ることが出来ました。本年度はグループ内26人の会長幹事の皆さんと交流が図れ、クラブ訪問ではいくつもの素晴らしい活動を拝聴させて頂きました。そこで感じた事は、どのクラブも魅力満載の例会やロータリー活動を行っているという事でした。これはもったいない。ではどうすれば今より他クラブ会員と交流を深め情報を共有する事が出来るのだろうか。良いところを参考にし合同例会と一緒に奉仕を行う事に繋がれば、クラブの更なる活性化になるのではと考えました。そこで年度前12月の第1回グループ協議会で7年ぶりとなるIM開催を提案致しました。実行委員会を立ち上げ準備を重ねる内に、多くのクラブが自主的に移動例会と位置づけ、積極的に取り組むようになりました。当日は地区役員の方を含め250名を超える参加者となり、一部でブラインドサッカーの体験を、二部ではクラブ自慢パフォーマン

ス大会を行い、途中退席する会員も少なく、最後まで盛り上がりました。記録の写真に多くの会員がいつも笑顔で写っていたのが印象的で、今回のIMがロータリアンの絆を深める機会になったと確信出来ました。この一年、最後まで私を支えて下さった大藤稔グループ幹事の友情に感謝を申し上げ、締め括りのアトランタのガバナーナイトで皆さんと美味しいお酒を酌み交わしたいと思いません。



2016 - 17 年度を振り返って

山の手東グループ ガバナー補佐 熊野 隆喜 (東京城西RC)



山の手東11クラブの予備訪問：

2016年5-6月にガバナー補佐とグループ幹事が御挨拶と状況視察のために全11クラブを訪問しました。その時の感触では東京原宿RCは会員減少で苦しい状況でしたが、全体的にはそれぞれのクラブがしっかり活動ができていました。従って、ガバナー補佐として取り立てて関与する必要もなく、自由にのびのびと活動してもらうことにしました。

クラブ協議会：第1回クラブ協議会 2016年1月26日からスタート。第10回クラブ協議会 2017年6月7日まで10回のグループ協議会を行った。

ガバナー補佐とグループ幹事のクラブ訪問：6月10日から7月12日にかけて各クラブを訪問し、クラブ協議会に参加。

ガバナーの公式訪問とクラブ会長・幹事との懇談

ガバナーの公式訪問はガバナーの過密スケジュールの

解消のことも考慮して11クラブ合同例会とした。9月28日(水) 12:30-14:00ホテルニューオータニ『芙蓉の間』にて350名出席のもと行われた。

クラブ会長・幹事との懇談会は9月26日(月)と28日(水)の二日。

ポリオ撲滅チャリティコンサート

東京恵比寿RC主催で山の手東グループ協賛で行った。12月8日(木)朝日ホールにおいてロスチャイルド家の歌姫・パロネス・シャーロットさんをお招きして行われた。

青少年交換の費用をグループ共有の負担に

青少年交換の受入れについて、1名あたり年180万円ほど必要である。

次年度のホストクラブ候補の東京神宮RCと東京原宿RCからその負担は無理であるのでホストクラブは引き受けできないとのことになり、協議の結果グループで費用負担を行うこととなった。(ホストでないクラブも年10万円負担、次年度だけでなく継続的に実施)

2016 - 17 年度を振り返って

山の手西グループ ガバナー補佐 京谷 政富 (東京青山RC)



山の手西グループのガバナー補佐に推挙され、研修期間を入れると約1年半、諸先輩の方々にご支援・ご協力をいただき遂行できたことに感謝いたします。

クラブ訪問に際しましては、各クラブの会長・幹事さんを、はじめとする会員の皆様に暖かい歓迎と身に余るお気遣いをいただき、誠に有り難うございました。

はたしてガバナー補佐として十分にガバナーの方針を伝えられるのかと緊張のクラブ訪問でしたが、いずれのクラブもRI会長の要請と大槻ガバナーの地区方針を尊重し、各クラブが個性あふれるクラブ運営と奉仕活動を展開している姿を拝見でき感動しました。

またガバナー補佐になり、たくさんの方々とお出会うことができたことも大きな喜びでした。

IM開催にあたっては、各クラブの会員の皆様に多大なるご協力を頂き、盛大に執り行うことができ心中より感謝申し上げます。

特に、山の手西グループ全13クラブ協力のもとミャンマーでのNPO法人ジャパンハートのミャンマーでの活動に対するして医療器具支援活動というに、山の手西グループ全13クラブ協力のもと奉仕活動ができました。この奉仕活動は香港西北RCそしてヤンゴンRCと共に行ったもので、関係たことは全各クラブやに対し、またご協力していただいた方々に対して感謝いたします。また、このことは、クラブを超えグループ・地区・国を超えて香港西北RCそしてヤンゴンRCと共に世界のロータリアンがお互いに小さな力を合わせれば

大きな波となり多くの人々に喜んでもらえる奉仕事業が出来る事を立証しています。

奉仕活動はその現場に行って自分の目で見て体験実感することが大切です。

今回多くの会長幹事をはじめ各クラブ会員が参加してミャンマーの奥地まで同行してくれましたことに深く感謝いたします。

同じく私達はミャンマーの養育施設「ドリームトレイン」の200名からの子供たちと触れ合い、子供たちの置かれている環境の劣悪さに胸を打撃たれ、すぐに何か行動をしなければという思いに駆られました。そこで、私達は直ちに各クラブからの協力や、また少年サッカーチームの子供たちからも協力してもらい、中古衣類等20kgの段ボール17箱を運び、そして虫が出てきて困っていた子供達の部屋の床の張替えをしました。これに対する喜びは子供たちの嬉しそうな笑顔が大きな喜びでした。

この様な各クラブの心のこもった奉仕活動に参加できたことにして感動と感謝を申し上げますとともに、今後ますますご活躍してくださいますようお願いいたします。

また私の任務遂行にあたり二人三脚で歩んで私を支えてくださった後藤グループ幹事に、心からの感謝とお礼を申し上げます。

今後各クラブが益々発展されますよう心から祈念申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが素晴らしい充実した忘れられない大切な思い出となるロータリーライフを送らせて頂いたことに対して大槻ガバナーに心中より感謝申し上げます。

2016 - 17 年度を振り返って

多摩南グループ ガバナー補佐 三浦 眞一 (東京八王子西RC)



奉仕の1世紀を過ぎ112年を迎えた年に、世界はますますロータリーを必要としていることを「人類に奉仕するロータリー」という標語に託したジョン・ジャームRI会長、そして「奉仕の哲学を実践しよう」という地区運営方針を文字通り実践された大槻哲也ガバナーのもとで、ガバナー補佐を務めさせていただきましたことに、まずもって御礼申し上げます。

2016年7月のキックオフパーティを皮切りに、多摩南グループ11クラブのクラブ協議会への参加と、ガバナーのお供をしての公式訪問は、新米ガバナー補佐にとりましては、緊張の日々でありました。八王子市・町田市・日野市からなる多摩南グループは、それぞれ独自の歴史的背景を持つ3市に独自の特性を持った11クラブがあり、様々な角度から構築した地域の奉仕活動を展開されていることに、大きな感銘を受けると共に、心が震える思いをしたことは、私のロータリー人生の教訓として心に残る大きな体験でございました。また6回のグループ協議会を開催させていただき、RIや地区の報告をさせていただくと共に、各クラブの報告をしていただき、すべての情報をグループ内で共有できましたことは、各クラブ会長・幹事のご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

そして地域社会奉仕活動の実践の場である各クラブの多くの事業に参加をさせていただき、地域に密着したロータリー活動の姿を、会員諸兄と共に目の当たりにできましたことは、本年の大きな収穫であったと思います。

2016年11月11日に開催させていただきましたIMは、250名を越える大勢の地区役員や各クラブの会員のご出席をいただき、東京八王子西RCの馬場榮次実行委員長のもと、各クラブからご出向いただいた委員のご努力により、11クラブの代表的な事業を発表していただき、奉仕活動の在り方を再認識する場として、素晴らしい成果を上げることができました。

新会員セミナーを始めとする地区主催の様々なセミナーや勉強会にも、会員のご出席・ご協力をいただくと共に、2月に開催されました地区大会では、多摩南グループここにありとばかりに、大勢の会員にご参加いただき、大会の成功に寄与していただきましたことは、感謝に堪えません。

最後に、大槻ガバナーの卓越した指導力と包容力に、そして地区役員の皆様のご協力に感謝申し上げますと共に、心を通い合わせることができました同期のガバナー補佐の皆様にご御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。

2016 - 17 年度を振り返って

多摩中グループ ガバナー補佐 鈴木 義明 (東京武蔵国分寺RC)



2016-17年度を共に過ごして頂いた、多摩中グループ13クラブの会長・幹事、会員の皆様1年間奉仕にお付き合い頂いた事に心から御礼申し上げます。

1年間のガバナー補佐が大変長く感じたか、大変短く感じたかどちらですかと聞かれましたら…?大変短く感じた一年でしたと答えます。第1回グループ協議会を2016

年1月27日開催し、各クラブ会長を通して多摩中グループ約600名の会員の皆様に大槻ガバナーのロータリーに対する思いをどの様にお伝えするか大変悩んだ事が思い浮かびます。そこで、大槻ガバナーの信頼を得た各常設委員長にグループ協議会にお越し頂き、新年度に向かっての委員会活動や地区活動方針をクラブ会長・幹事へお伝え頂きました。また、私はガバナー補佐として本年度の目標を、「親睦と情報」「地区とクラブ間の意思の疎通」の2つとしました。

IM・親睦ゴルフ大会では、従前と違い一つ一つ親睦と情報に拘った企画を致しました。クラブ会員の皆様に目的の意図が明確に伝わる事と一緒に作り上げる事を目的とした全クラブ参加実行委員会制を作り、「多摩中親睦ゴルフ大会」では例年2回実施致しておりましたゴルフ大会を年1回にして、中身の濃い親睦を強調したゴルフ大会を目指し「美味しい食事と良き仲間たち」をテーマに企画致しました。その結果、例年に無い多くの参加者に恵まれ大変嬉しく思いました。また、パーティー会場では大親睦会が開催され、会員の皆様に喜ばれた大会で終了致しました。もっとも多摩中グループの良き特徴を出せるIMの開催については、全クラブが賛成ではありませんでした。私と致しましては、全クラブ賛成での実施を考えておりましただけに

残念な気持ちで開催を致しました。実施に当たり、いかに会員の皆様に「心に残る1年の思い出と情報交換」が出来るかをIM実行委員会に検討して頂き、5回の開催を経て、基調講演に「オリンピック・パラリンピックをロータリアンがどの様に係わるか」をミズノ(株)水野正人会長にお願いし、卓話では、ロータリー財団100周年を記念して「財団の寄付がどの様に使用されているか」をテーマに、「ロータリー財団国際奨学生OB」で現財団学友椎間優子小児科医師に卓話を頂きました。当日は、360名のロータリアンに参加頂き、目標である「心に残る1年の思い出と情報交換」が達成出来たと思います。

本年度は、ロータリーにとって大きな変革の実施に当たる年でもありました。三年に1度の規定審議会決定後に伴う実施年度であります。各クラブへの訪問では、多くのクラブが規定審議会内容を取り上げ、多に討論した年ではないでしょうか。

各クラブにおける規定審議会変更に伴う講評として、「本年度2016年4月 世界537地区からのロータリアンが集まり、3年に1度開催される規定審議会が行われ大幅な細則変更が行われました。これは、会員減少と地域格差に伴うクラブ運営の柔軟性を考慮しての変更だと思えます。今回の改定で、私たちは、いろいろな選択を選ぶことが出来ますが、クラブが長い間築き上げてきた伝統・良き習慣等を大事に「選択」を取り入れたらいかがでしょうか…!」とお話をさせて頂きました。

最後に、大変短く感じた年ではありましたが、沢山の出会いと沢山の友情に出会うことが出来ました。多摩中グループ会長・幹事の皆様と短い1年の奉仕の旅ではありましたが、一生忘れられない年でもありました。私を支えてくれた鎗木グループ幹事、そして多摩中グループの事務局員の皆様大変有難うございました。心から感謝申し上げます。

2016 - 17 年度を振り返って

多摩東グループ ガバナー補佐 宮本 誠 (東京多摩グリーンRC)



年度開始前を含め7回のグループ協議会を開催。当グループでは情報共有のため毎回事務局も同席としている。当年度グループ協議会での協議事項として一定の時間とエネルギーを要したものと、①青少年交換学生受入れクラブに対する他クラブ協力、②

グループ内親睦行事開催、③次々年度ガバナー補佐選出、④IM開催などの件があり、当初目論んでいた地区委員会との内容の濃いディスカッションの機会の設定が出来なかったのが残念であった。①及び③については協議により処理済みであるが、②及び④については今後も検討の余地のある事項と思われる。

②の親睦行事について。従来年2回のゴルフコンペをガバナー補佐主催として開催しているが今年度これを開催しないこととした。理由は、各クラブ4名/回の選手を出しての会がグループ全体の親睦として名分が立つものか?ということ、技能的に誰でも参加できるものでないという疑問もある。それをガバナー補佐の名において開催すればグループ行事となり各クラブに参加費負担予算を要請する結果となる。これは会員の会費の使途として

「皆に公平か?」という疑問が残る。それをガバナー補佐として要請するのは私の信条に反することであった。しかしグループ内ゴルフコンペは地区親睦ゴルフ決勝大会の選手派遣の予選として開催されてきたという背景があり、この地区決勝大会参加そのものも弱小クラブにとっては大きな予算負担を強いるものであった。これについてもガバナーに参加義務の照会をし、義務なしとの回答によりグループ内コンペの開催義務根拠解消となり開催しないものとした。唯これに替わるグループ親睦行事を模索したが、各クラブとも強いて親睦行事の開催必要なとの考え方であり、見送りとなった。

④のIMについて。従来IMは親睦の意味合いの強い傾向があり、また、強いて言えば主催ガバナー補佐やホストクラブの達成感に寄与するものの感があった。ロータリアン間の親睦であれば地区大会で充分という考え方で、当初より従来型でないIMを模索した。

「奉仕と親睦」は車の両輪と言われているが、ロータリーの「親睦」はFellowshipでありSocial affair「社交」ではないと考えている。

②及び④については、試行錯誤、原点回帰として当年度の例もありかと考えた。

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

文庫通信 (356 号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「ロータリーと茶の心」
千 玄室 2017 4p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「日本ロータリーの昔話 4～7」
深川純一 伊丹R.C. 2016 4p (純ちゃんのコーナー PartXV)
- ◎「日本のロータリアンの使命」
塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」
三木 明 2016 1p (D.2680月信)
- ◎「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」
藤林豊明 2016 2p (D.2580地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーの魅力とは何だろう」
富田英壽 2017 2p (D.2700月信)
- ◎「RIの向かっている道(三つの側面を通して)」
桑月 心 2017 2p (D.2630月信)
- ◎「今までの100年・そして現在」
久世晴雅 2016 4p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎「会員を引き込む」
RLI日本支部 2015 3p (RLI参加者テキスト)
- ◎「ロータリー財団を正しく理解する」
鈴木一作 2016 5p

上記申込先：ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館
午前 10 時～午後 5 時
休館
土・日・祝祭日

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

★国際ロータリー第 2750 地区出席報告 (4 月分)★
District 2750 Membership Attendance Report April 2017

G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				16年7月1日	17年4月末	増減					16年7月1日	17年4月末	増減
千代田グループ	東京南	4	66.26	198	193	-5	多摩南グループ	東京八王子	4	84.47	57	62	5
	東京芝	4	85.99	55	53	-2		東京町田	4	64.72	52	52	0
	東京新橋	4	78.13	59	58	-1		東京日野	4	71.63	37	35	-2
	東京赤坂	4	60.00	52	57	5		東京八王子西	2	93.16	103	104	1
	東京みなと	4	79.43	40	44	4		東京町田・中	4	77.14	30	32	2
	東京レインボー	3	65.00	20	18	-2		東京八王子東	4	86.46	19	24	5
	東京麻布	4	48.60	18	20	2		東京八王子南	4	90.13	74	79	5
	東京グローバル	4	37.94	25	27	2		東京町田サルビア	4	64.47	31	32	1
	東京サンライズ汐留	3	61.40	18	19	1		東京飛火野	4	92.84	25	28	3
	東京銀座	4	73.27	173	175	2		東京町田東	4	71.30	25	28	3
銀座・日本橋グループ	東京日本橋	4	76.00	213	213	0	東京八王子北	4	80.63	39	40	1	
	東京築地	4	87.19	71	72	1	東京立川	4	93.85	107	106	-1	
	東京日本橋東	3	77.77	51	52	1	東京小金井	4	89.70	37	37	0	
	東京中央	4	63.36	205	210	5	東京国分寺	4	90.88	46	45	-1	
	東京日本橋西	4	86.71	43	44	1	東京三鷹	4	69.82	44	47	3	
	東京銀座新	3	75.23	75	78	3	東京昭島	4	76.31	48	47	-1	
	東京シティ日本橋	3	81.67	39	40	1	東京国立	4	95.14	47	48	1	
	東京中央新	4	64.70	47	48	1	東京立川こぶし	4	90.24	87	89	2	
	東京あけぼの	4	75.30	18	19	1	東京井の頭	4	82.90	28	29	1	
	東京山王	4	75.00	32	34	2	東京昭島中央	3	64.70	47	48	1	
京浜グループ	東京羽田	4	58.30	50	50	0	東京武蔵国分寺	4	92.00	40	39	-1	
	東京品川	4	77.38	49	50	1	東京小金井さくら	4	70.43	22	25	3	
	東京大森	3	83.95	44	46	2	東京国立白うめ	4	79.99	19	18	-1	
	東京品川中央	4	84.76	43	39	-4	東京ピースウィングE	4	64.00	25	23	-2	
	東京大井	3	68.75	16	16	0	東京府中	4	91.24	55	53	-2	
	東京田園調布	3	63.76	47	49	2	東京調布	4	70.10	64	63	-1	
	東京港南マリン	4	65.91	25	25	0	東京多摩	4	67.24	35	30	-5	
	東京大崎	4	77.52	23	25	2	東京多摩せいせき衛星	4	47.50	(13)	(10)	(-3)	
	東京蒲田	4	81.16	61	63	2	東京柏江	3	71.96	23	22	-1	
	東京京浜	3	64.03	27	28	1	東京稲城	5	75.27	29	29	0	
山の手東グループ	東京田園調布緑	3	79.62	27	27	0	東京武蔵府中	4	86.02	40	45	5	
	東京白金	3	80.00	28	25	-3	東京たまがわ	5	68.18	23	22	-1	
	東京高輪	3	74.24	20	22	2	東京多摩グリーン	3	82.78	32	30	-2	
	東京西	4	73.53	179	181	2	東京調布むらさき	4	82.90	71	73	2	
	東京城西	3	84.54	70	70	0	東京iシティ	4	63.75	20	21	1	
	東京西南	4	82.61	52	56	4	Guam			64	65	1	
	東京原宿	4	73.53	16	17	1	Saipan			51	48	-3	
	東京杉並	4	70.05	36	35	-1	Tumon Bay			68	68	0	
	東京神宮	4	81.25	33	32	-1	Northern Guam			26	26	0	
	東京恵比寿	4	78.63	112	117	5	Pohnpei			13	14	1	
山の手西グループ	東京広尾	3	66.66	17	19	2	Palau	4	70.00	21	21	0	
	東京渋谷	4	82.68	38	39	1	Guam Sunrise	3	57.00	20	19	-1	
	東京六本木	3	79.00	49	52	3	Truk Lagoon			13	13	0	
	東京愛宕	4	78.90	29	29	0	Pago Bay Guam E			16	16	0	
	東京世田谷	4	90.68	55	55	0	国内 91 クラブ計			4,510	4,591	81	
	東京目黒	4	64.67	42	42	0	地区 100 クラブ計			4,802	4,881	79	
	東京成城	4	66.67	20	21	1	千代田グループ	64.75	多摩南グループ	79.72			
	東京世田谷南	4	72.00	91	93	2	銀座・日本橋グループ	76.02	多摩中グループ	81.54			
	東京城南	4	52.03	33	37	4	京浜グループ	73.80	多摩東グループ	75.94			
	東京山の手	3	85.64	65	65	0	山の手東グループ	77.40					
東京成城新	4	81.68	34	32	-2	山の手西グループ	72.68	PBグループ					
東京青山	3	70.09	23	25	2		平均出席率		75.50 (PBGを除く)				
東京自由が丘	3	72.22	18	20	2								
東京世田谷中央	2	93.75	17	16	-1								
東京米山友愛	4	44.00	31	35	4								
東京米山ロータリーEクラブ2750	4	91.38	29	30	1								
東京代官山	3	60.00	28	29	1								

国際ロータリー第 2750 地区 2016 - 17 年度 ガバナー 大槻 哲也

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2016 - 17 Governor Otsuki Tetsuya

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 大槻 哲也 (2016 - 17) Otsuki Tetsuya 2016

編集・制作：ガバナー月信・年次報告委員会 委員長 松林 智紀 (東京中央) 副委員長 沢崎 和久 (東京町田)

委員 アンドリュー・ウォン (東京南) 山見 真弘 (東京中央) 石原 剛 (東京中央) 竹平 時彦 (東京大森)

畑中 義雄 (東京白金) 西澤 宗英 (東京渋谷) 小高 俊明 (東京飛火野) 上岡 広紀 (東京武蔵府中)

ホームページアドレス

<http://www.rid2750.org>